

令和6年度
長井市遊びと学びの交流施設運営協議会
議事録

令和6年6月14日

長井市遊びと学びの交流施設運営協議会 出席者名簿

■委 員

No	氏 名	所 属 等	出 欠
1	加藤 俊昭	社会教育委員長、 長井市まちづくり青少年育成市民会議副会長	出
2	鈴木 奈美	長井市教育委員	出
3	船山 恒	長井市校長会会長（長井北中学校校長）	出
4	金田 舞美	くるんと愛称決定者	欠
5	上村 正巳	長井市地区長連合会会長	出
6	小関 由美	保育研究会会長（平野児童センター園長）	欠
7	小林 友樹	長井市父母の会連絡協議会会長	出
8	井上 典嗣	長井市PTA連合会会長	出
9	舘 杏子	長井市PTA連合会母親委員長	出
10	石黒 志保	山形大学人文社会科学部講師	出
11	鈴木 亮	公募委員	出

(順不同、敬称略)

■長井市

1	青木 邦博	技術参与
2	新野 弘明	総務参事（兼）地域づくり推進課長
3	高橋 仁	子育て推進課長
4	風間 陽一	建設課建設企画整備室長（建設課長の代理で出席）
5	山内 陽子	地域づくり推進課 補佐
6	武田 誠広	地域づくり推進課 生涯学習推進室係長
7	佐藤 恵理子	子育て推進課 係長
8	佐々木 優	建設課 主任
9	滝口 友和	くるんと施設長
10	迎田 浩昭	長井市立図書館長
11	小原 誉人	くるんと副施設長

1. 開会

2. 委嘱書交付

3. 委員長あいさつ

みなさんおはようございます。この協議会は決して難しい会議ではありませんので、ぜひみなさん言いたいことをいっていただいて大丈夫な会議ですので、安心してご参加ください。

先週の日曜日ですがここで大きなイベントがあったのですが、皆さんご存じですか。午前中しかこれなかったのですが、大変な賑わいでした。その時、施設長と館長さんと立ち話をしたのですが、パフォーマンスが高い施設なのだとということを改めて確認させていただきました。市役所を含めて全部ですが、人を集めることができる施設なのだと思います。長井の顔となるべき施設なのだと改めて感じました。ただ、問題もあるのかなという事を発見することもありました。その辺のところは、今後の課題として運営にも影響を与えていくのだと思います。その辺が今日も多分出てくるのだらうと期待している所です。みなさんも日々の中でこの施設というものをどのような形で見てもらえるのか、今後どういう風にしていきたいのかぜひお話して頂きまして運営に役立てて頂ければと思います。

あと、協葉さんの施設の所に足場が組まれました。何かしら建築が行われるという事は誰の目にも明らか。その辺のところも今後に向けて事務局から説明頂けると思いますので、そういったところも踏まえて頂きながら今後の運営に関わることをみなさんとともにお話させて頂けたらと思います。より素晴らしい運営にしていだけたらなあと思いを進めていきたいと思います。最後にみなさんのご協力をお願い申し上げながらあいさつに代えさせて頂きます。

(次第にはありませんが、委員・事務局紹介)

4. 報告

(1) 長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」について

資料1、資料2について事務局から報告

(2) 前回の協議会で出された意見について

水のひろばで遊ぶ子どもが、水盤の近くで着替えをしていたので、おむつ交換や着替えは外から見えないようにというような注意事項の貼紙等が必要ではないか。

→水のひろばの芝生部分に特設更衣スペースを設置。おねがいのチラシを新しく作り配布、掲示（モニターに写真を写し説明。配布しているチラシを当日資料として配布）。



5. 協議

(1) 令和6年度くるんと事業計画及び1周年事業について

資料3、資料4について指定管理から説明し、協議をおこなった。

委員長：事前に頂いた資料は目を通してきたが、説明するのが大変だと思っていたが、今回新たに資料を副読本みたいな形でつけていただけてとてもわかりやすかった。たぶん、初めての方にも非常に見やすかったと思うし、こんなに充実したことをたくさんの方のことでやっていたことを知ることができました。大変ありがとうございました。ここまで説明して頂いて非常にありがたかったです。

ひとつ確認ですが、みなさんいろんな立場でここに来られていますので、なんらかの会合のおり、くるんとでこんなことをやっている、これからもこんなことをやっていくということを話す上で分かりやすいのではないかと思います。これってひとり歩きさせていいですか。

施設長：4ページ目の管理体制は、写真付きのページがあるので、個人情報ということもあるので、確認をとっていないので、ここは割愛させていただくか。そこだけは修正が必要かもしれない。

委員長：ご活用いただいて大丈夫ですが、管理体制のところだけ、お渡ししないようにお願いします。

委員：子どもさんの写真が写っている所もありますが、大丈夫ですか。

施設長：くるんとで事業展開する際に、広報活動で使いますという許可を毎回取っている

わけではないので。

委員長：写真があることによって非常にわかりやすいので、写真を黒塗りされては、意味がない。扱いについては、難しいという事もわかるので確認させていただきました。

施設長：使用する際に、その部分の説明をしていただいで共有していただければ大丈夫だと思います。

委員長：それでは、時間もそんなにありませんが、みなさんからご意見を頂ければと思います。今日説明を受けた内容でひとことずつお話して頂ければと思います。

委員：水遊びをする際の着替えスペースが1つでは少ないのではないかと思います。2～3つくらいあればいいのではないかと。

図書館シネマの作品の選定基準はどのようになっているのか。また、タイトルを見ると大人向けに感じるが、数か月に1回はお孫さんも連れてこれるような作品を上映してはどうか。

ぬいぐるみのお泊り会は、優しく、温かくていい企画だなと思います。ぬいぐるみが、翌朝持ち主に持ち帰る本の選定基準はどのようになっているのか。

施設長：着替えスペースは、施設としては2つ持っている。2つ設置しない理由はくるんと周辺西風が強い、4 m/s を超えるとあおられて危険なため、今は1つにしている。土日混んでいる様子は無いので、様子を見ている。数が多ければいい所もあるが、管理が難しくなってしまう。

図書館シネマの作品の選定基準は、主に司書が参加者の年代に合わせて選定している。孫向けというのもいいと思った。8月の図書館シネマでは子ども向けの作品もチョイスしているが、毎月の選定もアドバイスを基に検討したい。

ぬいぐるみのお泊り会での持ち帰る本の選定基準は、申し込みの際に子どもの性格や好きなもの、趣味をヒアリングしている。その情報を基に司書が選定している。

委員：学校でも読書は課題になっている。年に1回図書館の見学をさせてもらっているが、読書とのきっかけづくりになればと取り組んでいる。最近読む力が落ちているということを感じているので、学校と連携を取っていただきながら進めていきたい。

今後のことで興味を持ったこととして、コミセンとの連携がある。子どもが少なくなる中で可能な限り連携することで子供たちが参加できる環境づくりができるのではないかと。

もうひとつは、R8年度から部活が地域移行になり、学校でほぼやらなくなる。子どもの中にボランティアをしたいという子もいるかもしれないので、イベントの中に

中学生も入れていただくと、社会参画の意識を育てる機会になるのではないかと考えた。

施設長：ありがたい意見なので、ぜひ、あそびば・図書館のイベントの中で、社会活動の一環として参加していただくことも検討したい。

委員：盛りだくさんの内容をやっているが、利用者になかなか伝わっていない部分もある。対象のターゲットや時間帯も限られているので、告知の仕方を工夫してみてはどうか。

着替えスペースは、日当たりがいいので暑くないか。暑さを気にしないで利用できるのか。

施設長：利用者になかなか伝わっていないという点は、苦慮している点のひとつ。高齢者向けにはSNSは合わない。事業に合わせた告知の方法を検討したい。

着替えスペースは、暑くないかということについては、テントの構造上、天井が空く、側面に窓があり風通しがいいので大丈夫。使用していないときはファスナーを空けるよう注意書きもしている。

委員：ボールがこれだけ多い施設は他に無い。ボールの清掃の部分をもっと周知していただくと、保護者も安心して使えるのではないか。

委員：たくさんの事業をしていることを知ったので、PTAの会議でも話題にしていきたい。

ひとつ質問ですが、来館者数は、当初見込んでいた来館者数に対する結果はどうだったのか。

着替えスペースについては、日陰に置ければいいのではと思った。

事務局：来館者数については、図書館75千人、あそびば75千人想定のため、想定の2倍、3倍になっている。

施設長：着替えスペースの置く場所については、午前中日が差す場所だが、水場との関係と、ペグうちの必要があり今の場所がぎりぎりのところ。水場から離れるがエントランスに置くことになる。置く場所については、検討課題である。

委員：図書館シネマは、もう少し遅い時間にやって、学校終わりの子どもたち向けの開催をしてもいいのではないかと思う。原作の本がある映画を上映すれば、読書にも誘導できるのではないか。

施設長：放課後15時～16時に小学生が来て多目的室や広場で遊ぶのが多いので、図書館に呼び込むために、エントランスで紙芝居ができないか考えている。大型絵本や紙芝居を読み聞かせるきっかけを作りたい。夕方のシネマのアイデアも持ち帰って検討する。

原作の本がある映画と本をマッチングさせるというのも非常に効果的であると思うので、今後検討していきたい。

委員：たくさんの事業をされているが、図書館機能としてのスタッフ足りているのか。8月から開館だが、1年間の受け入れ冊数、除籍数、蔵書点検の日数は足りているのか。書棚の空き具合はどうか。レファレンス（※）は、どんなレファレンスがあったか、寄贈本と購入本のバランスはどうか、処理が追い付いているか。苦労した点あれば教えてほしい。

イベントでのアンケートは取っているのか。利用者の声などを聞かせてほしい。

2月に山大からお金をもらって図書館で展示をしたので、その展示の報告も事業の報告に入れていただきたい。

※レファレンス：利用者の問い合わせに応じ、図書の照会や検索をする業務

館長：人はいればいるほどいいが、規程のスタッフ数で連携してこなしている。運営を工夫し、精査して事業計画を組み立てたい。シネマについても上映できるDVDの規制が多いので、その中で選ぶ必要がある。放課後の子どもたちがシネマを観ることが出来るように上映時間についても検討していきたい。

今回の蔵書点検では、6日を要したが、棚には余裕がある。点検で廃棄した本は無いが、行方不明本や返却されていない本などの削除せざるを得なかった本が300冊弱。新書は1000冊以上買い増した。そのような中で、数年間は棚には余裕がある。レファレンスは2件。「長井市の養蚕の推移について」と「伊佐沢地区における道路、地番関係について」の問合せでした。司書が郷土資料を基にして回答した。図書館独自のアンケートは取っていないが、市のアンケートやSNSに寄せられた意見を反映している。

委員：前回の協議会で出された意見がすでに反映されていてすごいと思った。

ひとつ質問ですが、旧第一校舎のギャラリー駐車場が5月で無くなった。市民の絵画や作品の展示スペースが減ったので、くるんとでそういうことができる可能性はあるか。

施設長：くるんとのエントランスにギャラリー展示架を用意しているので使える。ただ、用料については、相談させていただきたい。

委員長：委員の皆さんが何か気づいたことがあったときの窓口は、施設長でいいですか。

施設長：はい。必要に応じて、市役所の方に相談します。

(2) その他

8月10日のパレードと長井おどりのコース等について説明
事務局、委員共に特になし

6. その他

事務局から諸連絡、委員からは特になし

7. 閉会